

令和8年度南三陸町議会9月会議 一般質問通告書

通告1番 星 岳大 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問件名 教育環境と学校再編について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 先の行財政改革調査特別委員会で、町の行財政改革の取組が示されて以降、行政の動きに不安を感じる町民も多い。学校においては、環境の大きな変化を迎える中、学校の再編という新たな局面を迎え、保護者や地域からは、戸惑いの声が多く聞かれる。

大きく変わる環境への子供たちの負担軽減のため、また、学校再編へ向けて、前向きに建設的な協議を推進するために、以下の点を伺う。

- 1 学校再編へ向けての進め方に対し、不信感を抱く保護者からの声が多く聞かれる。事前の丁寧な説明と、時間的な余裕が必要なのでは。(質問相手：教育長)
- 2 現段階での、町の学校再編へ向けての考え、ビジョンは。(質問相手：町長、教育長)
- 3 活動が制限される夏期の屋内外活動、運動への今後の対応は。(質問相手：教育長)
- 4 部活動の地域展開を推進する上で、今後の課題は。また、地域認定クラブへの支援の考えは。(質問相手：教育長)

2件目

質問件名 感震ブレーカー設置について

質問の相手 町長

質問の要旨 感震ブレーカー設置を支援する自治体が増加しているようだ、地震の二次災害防止に有効と思うが、以下の考えを伺う。

- 1 町内の感震ブレーカーの設置状況は。
- 2 感震ブレーカー普及に向けての考えは。

通告2番 須藤 清孝 議員

質問方式 一問一答

質問件名 戸倉地区の生活機能の確保と交通安全について

質問の相手 町長

質問の要旨 戸倉地区では、日常生活に必要な買い物・生活サービス機能に加え、漁業等の地域産業を支える交通環境についても課題があると考えます。生活機能の不足により生じる住民の移動と、地域産業を支える交通をどのように確保し、その安全をどのように守っていくのか。戸倉地区の生活機能の確保及び交通安全対策について、町の現状認識と今後の取り組みを伺う。

通告 3 番 千葉 伸孝 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 町立小学校の適正化について

質問の相手 教育長

質問の要旨 小学校の統合は、町の財政に大きく関係していると思うが、厳しい財政の中で、学校施設の縮小や維持管理、今後の町の小学校の教育環境改革について伺う。

- 1 全国的な自治体の少子化の中で、今後の町の小学校の統合の考えは。
- 2 合併後、藤浜小学校、荒砥小学校及び清水小学校の統合を実施してきたが、統合における問題点や地域・保護者からの反発はあったのか。
- 3 統合により、子供たちの環境は変わっても、マイナスよりもプラスの部分が多いと思うが、教育長はどう捉えているのか。

2 件目

質問件名 中高一貫教育の今後のあり方について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 志津川高校から南三陸高校に校名が変更となり、町では「高校魅力化」にも取り組んでいるが、宮城県だけではなく、全国で高校の定数割れの中で、教育長の手腕が期待されている。行財政改革を推進する中で、以下の点について伺う。

- 1 中高の教員の相互乗り入れの実施と効果は。(質問相手：教育長)
- 2 南三陸高校を地元中学生に選択してもらうための考えと、今後の方針は。(質問相手：町長、教育長)
- 3 中学校の部活動の地域展開や教員の働き方改革は、時代の大きな転換期にきている。この2つの問題の解決にどう向き合うのか。(質問相手：教育長)
- 4 県外からの高校生の受け入れが続く中で、県外生徒の増加により旭桜寮の運営は、今後の財政負担とはならないのか。(質問相手：町長)

通告 4 番 阿部 司 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 産業再生に向けた取組について

質問の相手 町長

質問の要旨 高齢化と人口減少に伴い当町の各産業は共通して衰退が続いている。については、今後の取組につき以下の点を伺う。

- 1 各産業の就業者数及び生産額減少の要因に対する考えについて
- 2 産業再生に向けた企画等の考えについて
- 3 新産業の現況について
- 4 企業誘致の現況について
- 5 産業再生に向けた「産業戦略課」設置の考えについて

2 件目

質問件名 クマ対策について

質問の相手 町長

質問の要旨 クマ出没にかかる町民の不安と今後の対策につき以下の点を伺う。

- 1 現行上のクマ出没への対応状況について
- 2 クマ用箱罟の活用状況について
- 3 緊急銃猟制度への取組状況について
- 4 ガバメントハンター養成の現況について
- 5 クマ対策における近隣自治体との連携状況について

3 件目

質問件名 ふるさと納税への取組について

質問の相手 町長

質問の要旨 ふるさと納税の取組も久しく行われ社会全般に定着したように感じられるが、地方自治体においては希望の「タネ」とも受け取られている。

ついては、今後の取組につき考えを伺う。

- 1 直近3年間のふるさと納税受入額と状況について
- 2 現在進行中の新たな取組について
- 3 地域事業者との関係強化について
- 4 担当職員の今後の配置の考えについて
- 5 ふるさと納税新基準への対応について

通告5番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

質問件名 2040年問題を見据えた地域福祉の再構築と権利擁護支援強化を

質問の相手 町長

質問の要旨 2040年問題は今後のまちづくりにおいて早期に着手すべき重要課題の一つと捉えており、その中で誰もが最後まで自分らしく暮らせる地域であるためには、権利擁護支援強化の重要性が今まで以上に高まっていくと考えられる。重層的支援体制整備事業をより実効性のあるものにしていきつつ、医療・介護現場の課題が深刻化・複雑化することを防いでいくために、行政として関連施策にしっかり取り組むことを望む。

改正社会福祉法を基に当町の地域福祉の充実と町民の幸福度向上実現のため、以下について伺う。

- 1 南三陸病院経営強化プランを進めていくことにより在宅・施設介護の現場への影響、及び効果的な接続が図られるか。
- 2 今年度の重層的支援体制整備事業の進捗、及び課題は。
- 3 成年後見制度の活用と並行して「予防的な権利擁護支援」に取り組む考えは。
- 4 障がい者、障がい児の権利擁護対策は。
- 5 介護関連人材の圧倒的不足は重点的に対策が必要では。

通告 6 番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 子どもたちを取り巻く環境について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 行財政改革の詳細が公表されたこともあり、町の将来を託す存在である子どもたちを取り巻く環境も変化している。町をあげて子どもを守るべきと思うが、町の考えをうかがう。

1 子どもの権利条例を制定する考えは。(質問相手：町長、教育長)

2 子どもの居場所づくり事業の状況は。(質問相手：町長、教育長)

3 名足こども園の年度内廃止が、保護者や関係者への説明の前に報道発表となったのはなぜか。(質問相手：町長)

4 廃止後の児童の受け入れ体制、施設のその後の利活用方法は。(質問相手：町長)

5 名足こども園の年度内廃止は一度立ち止まり、現在通園する子どもたちが卒園してからにすべきでは。(質問相手：町長)

2 件目

質問件名 海と親しむ施設の今後について

質問の相手 町長

質問の要旨 観光は町の産業の柱であり、夏はそのハイシーズンである。南三陸町には豊かな海があることが最大の強みだと思うが、来町者を迎える施設の整備状況についてうかがう。

1 サンオーレそではま海水浴場は、養浜の必要があるのでは。

2 HOBIE の利用状況は。

通告 7 番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 持続可能な町づくりについて

質問の相手 町長

質問の要旨 行政事業の仕分けをはじめ、現在すすめている行財政改革における町民生活への影響や、財政再建団体に陥った場合の影響などについて伺う。

2 件目

質問件名 道路行政について

質問の相手 町長

質問の要旨 安心安全の町づくりにおいて生活道路は大切である。雑草や樹木で通行の妨げになっている部分の対処、解決方法について伺う。

通告 8 番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問件名 南三陸病院の施設管理と運営について
質問の相手 町長
質問の要旨 南三陸病院は人口減少による患者数減少と、赤字経営が続き厳しい状況である。この難局を乗り切る為にどのような方策を考えているのか次の点について伺う。

- 1 病院屋上のコンクリート破砕があり、昨年より施工業者と協議をしているが、その経過と今後の対策を伺う。
- 2 運営面では病床90床から62床縮小し、院内に12人の介護医療院開設との提案だが、一般会計からの繰入が減額になるのか見通しは。
- 3 売店運営は民間委託だが、復興住宅の高齢者の利用が多い為、土日休業で困っている現状である。買い物難民がでないよう業者に短時間でも開けてもらえるよう協議してもらいたい。

2 件目

質問件名 名足こども園の廃止について
質問の相手 町長
質問の要旨 当町の出生数は年間50人を切って40人前後となっている。8月の行財政改革調査特別委員会で、名足こども園の廃止が提示されたが、あまりにも唐突で、新聞を見た保護者からも驚きの声が聞かれた。

ついては、次の点について伺う。

- 1 子供の減少はわかるが、保護者や現場の声を聞かなかったのか。また、ニーズ調査などもしなかったのか。
- 2 園を廃止することにより、保育所全体の会計年度任用職員の離職者が出てくるのではと心配だが、雇用は守られるのか。
- 3 園は名足地区の指定避難所となっているが、避難所の取扱いについて地区の人達との話し合いはどうなっているのか、今後の見通しを伺う。

3 件目

質問件名 中核病院への公共ライドシェア事業について
質問の相手 町長
質問の要旨 当町の高齢化率は41.7%と県内では高い方である。それと同時に単身世帯や老老世帯が多く、病院を受診することや中核病院に紹介されても通院をする事が困難で治療を断念している人もいる。

ついては、次の点について伺う。

- 1 年々運転免許返納者が増加すれば、病院受診が困難になり、不健康者が多くなる。中核病院への通院実態を把握しているか。
- 2 登米市では、市外の病院往復のために、公共ライドシェア事業の実証実験を始めた。病院アクセスに特化した事業で大崎市民病院と石巻日赤病院にそれぞれ1日3往復している。当町でも同様の取り組みを行ってはどうか。